

平成22年11月12日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 橋場 利勝 様

栗山町議会議員 横崎 忠彦

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成 22 年 10 月 20 日 9:30 ~ 10:30
視 察 先	鳥取県海士町
視察項目	地域再生への取り組み
対 応 者	教育町・田 稔 学校教育課 宮田課長
報告事項	「海士町」の抱える重要課題 1. 人口問題 昭和 25 年 7000 人の人口が 2400 人へ 2. 超少子高齢化 3. 財政問題 - 財政危機 公共事業の削減、地方交付税の削減 ↓ 単独町政での自立の道を決断 ↓ 「守り」と「攻め」の両面作戦 守りの戦略 ① 三役、議員、教育委員、職員的大幅給与カット ② 徹底的なコスト削減、住民と危機感の共有 「攻め」の戦略 - 攻めの 3 部隊 - ① 観光と交流の融合 - 交流促進課 ② 第一産業の振興 - 地産地消課 ③ 新産業と雇用の創出 - 産業創出課 - 攻めの実行部隊 - ① 小さな島で日本一の教育を - 教育委員会 ② 海士らしい福祉と健康づくり - 健康福祉課 ③ 持続可能な生活環境づくり - 生活環境課

日 時	平成 22年 10月20 日 13:00 ~ 14:00
視 察 先	鳥取県海士町
視察項目	四次総合振興計画
対 応 者	財政課 吉元課長
報告事項	策定方法 1. 第4次海士町総合計画の策定手順 「海士町の未来をつくる会」- 策定委員会 住民と役場の若手職員 - 50名で構成 素案の作成 → 提案 「第4次海士町総合振興計画策定委員会」 未来をつくる会の有志・経営会議メンバー 原案の作成 「計画審議会」への諮問 途中 2. 住民参画の「海士町の未来をつくる会」 CPリング調査 - 海士町で活躍する個人・活動団体・企業・自治会 4つの視点・「ひと」「産業」「暮らし」「環境」 「策定」から「運用」→ 住民の意志を反映 3. 住民が主体的にまちづくりに関わるための 「海士町をつくる24の提案」 生活者の視点からの課題を解決するための 24の「まちづくり提案案」を別冊に集録 1人でできること、10人でできること、100人でできること、1000人でできること、

日 時	平成 年 月 日 : ~ :
視 察 先	
視察項目	
対 応 者	
報告事項	総合振興計画のテーマ 「島の幸福論」- 海土なうでの笑顔の追求 1. 心か満たされる島 2. 手づくりのある島 3. 幸せを実感できる島 4. 新しい風景を残す島 素案作成委員会のメンバーには、中学生、高校生にも参加の機会を保障し、環境チームのリーダーは、中学生ということ、町民全体をカバーしたメンバー構成になっていたのはいかがでしょうかと思います。

日 時	平成 22年 10月20 日 14:00 ~ 15:30
視 察 先	鳥取県海上所
視察項目	産業の取り組み
対 応 者	地産地消課 上田課長
報告事項	生き残るための攻めの戦略 - 一点突破型産業 振興策 「交流促進課」 - 観光と定住政策 「地産地消課」 - 第1次産業の振興 「産業創出課」 - 新たな産業の創出 地域再生戦略 - 島ごとトラバ化 1. 島の味覚や魅力を島まるごと全国に発信 2. 「海」「潮風」「塩」 - 産業振興のキーワード ①「海」 - 豊かな海 ささきカレー、いわがき「春香」 旬感凍結「活か」 ②「潮風」 大地はミネラル 隠岐中のトラバ化 ③「塩」 モノづくりの原点 海土乃塩 干しナマコ 。産業振興策の効果と定住促進 。交流を通じた人つくり 。町政の経営方針「自立・挑戦・交流」 役場にて「佐良総合サービス株式会社」がある。佐良は 「特産」である。サービスを提供する「顧客」があるという 発想

日 時	平成 22年 10月 22日 10:00 ~ 11:30
視 察 先	島根県 日吉津村
視察項目	コミュニティ計画、自治基本条例、6次総合計画
対 応 者	地域振興課、高田直人、福井真一、鬼束雄輔
報告事項	コミュニティ計画 1. 地域住民が、自ら考え、自ら創る「地域づくり計画」 2. 地域住民にとってのルールブックであり、地域参加の手引き 3. 村民誰もが、もろぐりに参画していただくための一歩 各コミュニティには役場職員による支援スタッフ(各3名)が関わりながら、村民ニーズの把握や情報提供に努め、多くの村民の皆さんが村の施策づくりに参加、参画いただくもの
	自治基本条例 1. 条例の制定について 条例検討体制 ○自治基本条例審議会(20名) ○自治基本条例プロジェクトチーム(7名) ○評議会 3者の連携のもと、ネットワーク以外、審議会に88名住民説明会、議会との意見交換会を終え制定、条例の推進については自治基本条例推進委員会(15名)を設置。

日 時	平成 年 月 日 : ~ :
視 察 先	
視察項目	
対 応 者	
報告事項	第6次総合計画 1. 計画策定に向けた取組み ○ 村づくり30人委員会を設立 ○ 村づくりアンケート調査の実施 ○ 自治会意見交換会 ○ 団体意見交換会 ○ パブリックコメント ○ 素案づくり 各担当者 → 職員プロジェクト → 策定委員会(課長級) → 総合計画審議会へ諮問 → 内容検討 → パブリックコメントの実施 → 答申 自治基本条例の制定委員会(女性5%)、第6次総合計画の審議会(女性40%)と女性の登用が顕著であった。